

【新刊のご案内】



オランダでは、フェルメール、レンブラント、ゴッホなどの画家達を訪ね、ベルギーではファン・エイク兄弟の「神秘の子羊」やルーベンスの祭壇画などと対話し、アルデンヌ地方にも足をのぼす。A「中欧の真珠」プラハでは、文学者カフカの足跡を辿り、ユダヤ人のシナゴークで現代史における悲劇を目撃する。さらにアートコラムを加え、多視点（歴史・風土・民族・文学・宗教）から建築・彫刻・絵画作品をアトリディングする。

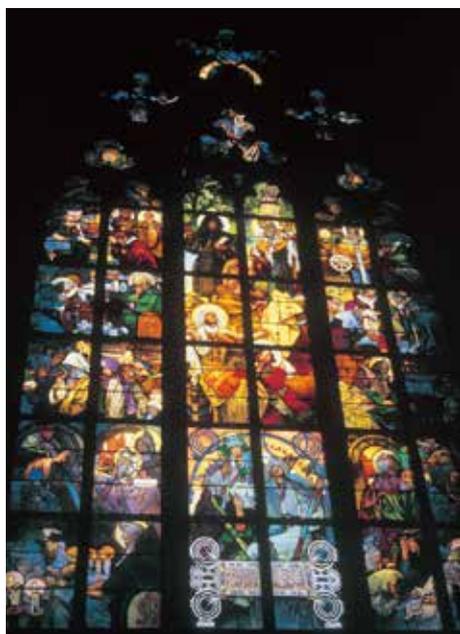
例えばベルギーの美術館では多くの〈神の子羊〉が登場する作品をみてきた。キリスト教図像ではかなり頻繁にみられるテーマの一つだ。いうまでもなく〈神の子羊〉とはキリスト教世界では〈イエス・キリスト〉自身を示し、さらに〈受難のキリスト〉の象徴でもある。その〈神の子羊〉の中でも白眉の作品がゲントのシント・バーフ大聖堂にある。ファン・エイク兄弟による「ヘントの祭壇画」である。（中略）この〈神の子羊〉の聖壇がおかれた野一帯には草花も咲き、美しい情景を生み出している。〈神の子羊〉の上部には聖霊のシンボルとして白い鳩が描かれ、そこから光線が降り注いでいる。

——まえがきより

柴橋伴夫  ミクロコスモス III

プロムナード
美の散歩道 2

Tomoo Shibahashi Mikrokosmos III



藤田印刷エクセレントブックス

プロムナード ミクロコスモス III —— 「美の散歩道2」 / 目次

「〈神の子羊〉を求めて」——まえがきにかえて

I ベルギー美術紀行

1. アントワープとルーベンス
2. 美の殿堂——ベルギー王立美術館
3. ロヒールとヤン・ファン・エイク
4. ブリュッセル建築めぐり
5. アルデンヌ地方—ナミール、ディナン、デュルビュイ
6. ゲントの2つの美術館
7. ベルギーの現代美術
8. ブリュージュの歴史
9. オーステンデとアンソール
アートコラム

II オランダ美術紀行

1. アムステルダムという街
2. 国立ゴッホ美術館
3. オランダ絵画の黄金時代
4. クレラー=ミュラー美術館
5. ヘット・ロー宮殿
アートコラム

III プラハ美術紀行

1. プラハ—中欧の真珠
2. プラハの息吹き—いくつかの教会など
3. プラハ—その歴史の脈動
4. シナゴーク
5. 建築のアラベスク
アートコラム

フランツ・カフカの〈実像〉を求めて——あとがきにかえて

貴店番線

発行：藤田印刷エクセレントブックス TEL0154-22-4165 FAX0154-22-2546

月
日

柴橋伴夫 ミクロコスモス III

プロムナード

美の散歩道 2

冊

定価3,080円(税込) ISBN 978-4-86538-160-3 C0070 ¥2800E

2023年10月20日 第1刷発行
発行所 藤田印刷エクセレントブックス
判型 A5判(278頁)上製本

ご注文はJRCへ FAX03-3294-2177まで